



小・中学生が“伝えたい思い”を発表

11月29日 子ども・若者育成支援大会を開催

「地域の子は地域で育てる」を合言葉に、「子ども・若者育成支援大会」を菰山時代劇場で開催しました。大会では、市内小中学校の代表者による主張発表が行われました。日常生活や友人との関わりの中で感じたこと、伝えたいことを堂々と発表する姿に大人たちは感動、感銘をうけ盛大な拍手を送っていました。

◀ステージで堂々と“思い”を伝える発表者

地元農産物の即売などでにぎわう

11月30日 伊豆の国農業まつりを開催

市と農協の共催による「伊豆の国農業まつり」をJAグリーンプラザ伊豆の国で開催し、市内外から多くの来場者でにぎわいました。

ステージでは農産物品評会の表彰式、太鼓やキッズダンスなどが行われたほか、会場内に設置された約25のブースでは、地元農産物や乳製品、焼きそば、焼きイモなどの販売が行われました。

◀景品が当たる大人気の餅まき



“幻の浮橋そば” 2,000食が完売

12月7日 浮橋そばの里祭りが開催

今年で20回目を数える「浮橋そばの里祭り」が、浮橋公民館広場で開催され、地元で生産した「浮橋そば」を求め、多くの来場者でにぎわいました。

同地区で生産したソバは、そのほとんどが自家消費のため、あまり市場に出回らないことから“幻の浮橋そば”といわれています。用意された2,000食のソバは、屋ごころ完売になるほどの盛況でした。

◀ソバを求め列をなす来場者

田方消防を招き AEDなどを学ぶ

12月7日 市内各地で地域防災訓練を実施

12月の第1日曜日は、静岡県が指定する「地域防災の日」です。市内では9時のサイレンと同時に、各地域でさまざまな訓練が行われました。

田京区では、田京幼稚園跡地で田方中消防署員を講師に招き、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使い方を学びました。参加者は交代でAEDの操作を体験し、緊急時に備えました。

◀田方中消防署員の説明を真剣に耳を傾ける参加者



駆 け抜けた 42.195km 繋 いた タスキ 深 めた キズナ

～郷土の誇りを胸に～

しずおか市町対抗駅伝が静岡市内を舞台に開催されました。今年は15回の記念大会として、福島県会津若松市をゲストチームとして迎え、県内全35市町から39チーム（市の部27チーム、町の部12チーム、ゲスト1チーム、合計40チーム）が出場しました。伊豆の国市は市の部で24位。昨年より2つ順位を下げての結果でしたが、タイムを12秒更新する健闘をみせました。

1区 (高校生女子) 高井茉莉 (菰山高1)	3区 (小学生女子) 清水有羽 (菰山小6)	5区 (高校生男子) 山本樹 (加藤学園高2)	6区 (40歳以上) 佐藤正三
2区 (小学生男子) 濱田真伯 (長岡南小6)	4区 (一般女子) 土屋優実	7区 (中学生男子) 江本璃玖 (長岡中3)	8区 (中学生女子) 三橋なつみ (菰山中2)
9区 (高校生女子) 菊池真永 (伊豆中央高3)	10区 (高校生男子) 岩田一馬 (三島南高2)	11区 (一般男子) 望月雅直	



小学生 1500m 走
大嶽昂士 (菰山小5) 都竹咲 (大仁北小6)



「順位については残念だが、選手一人ひとりが頑張ってくれた。来年につながる走りが出てきたのではないかと。今大会を振り返る坂本達也監督。」

しずおか市町対抗駅伝